

令和6年度 橋本地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和7年2月6日（木）午後6時から午後7時35分まで
- 2 場 所 緑区合同庁舎4階 集団指導室
- 3 市側出席者 本村市長、奈良副市長、椎橋緑区長、鈴木都市建設局長、佐藤リニアまちづくり課長、榎本市民局長
- 4 出席委員等 16人
- 5 傍聴者 6人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	魅力あるまちづくりについて
概要	<p>橋本地区まちづくり会議では、橋本地区を魅力ある「まち」にするため、「きれいなまちづくり」を目指し、今年度は「美化活動」と「交通安全」の2つのテーマについて協議を進めている。</p> <p>魅力あるまちづくりには、「移動しやすいまちづくり」も重要と考えており、リニア中央新幹線神奈川駅（仮称）を中心として、橋本駅北口方面、アリオ橋本及び国道16号（橋本駅南入口交差点、橋本変電所前）までを歩行者の安全性が確保された地下通路で結ばれば、橋本駅周辺エリアの回遊性が向上し、地域の商業の発展にも繋げることができることから、地下ネットワークの形成は、「移動しやすいまちづくり」に必要と考える。</p> <p>そこで、現在のリニア駅周辺まちづくり事業において、橋本駅周辺エリアを地下街や地下通路で結ぶ構想があるかなど、「移動しやすいまちづくり」に向けた考えについて、現在の検討状況を伺い懇談したい。</p> <p>次に、「移動しやすいまちづくり」には、橋本駅周辺と他の地域をつなぐ道路整備も必要だと考える。</p> <p>都市計画道路宮上横山線が町田市と繋がると、町田方面から橋本駅周辺への来街者の増加が見込まれ、JR横浜線小原踏切が渋滞などの原因になると考える。</p> <p>第2次相模原市新道路整備計画において、JR横浜線小原踏切の改良工事が令和13年度までに整備開始目標となっているが、高架式、地下道式の立体交差化されるかなどの改良工事の現在の計画について伺い懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>令和6年度は「きれいなまちづくり」をテーマに、環境美化グループ及び交通安全グループで協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化グループ <p>令和6年9月24日に東橋本商店会が実施している清掃活動に参加した。</p> <p>地区で清掃活動を行っているボランティア団体を広く伝える方法の検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全グループ <p>自転車に青切符が導入されることから、自転車運転マナーの向上に向けた啓発方法の検討を行っている。</p>

<p>市の取組 状況等</p>	<p>橋本駅南口地区の土地利用の転換にあたり、「まちの将来像」などを示した「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン」を令和5年11月に策定した。コンセプトとして「リニアでつながる一步先の未来を叶えるまち橋本」を掲げている。橋本駅の求心力を高め、周辺都市の人や企業から選ばれるまちとするため、魅力的な駅前空間の創出に積極的に取り組んでいる。</p> <p>ご指摘のあった移動動線については、街中に人々が集い、安全・安心に過ごせる歩行者空間の形成などを通じて、駅を起点とした「歩いて楽しいまち」となるよう検討している。</p> <p>地下空間の活用については、令和5年11月に策定したガイドラインにおいて具体的な方針を定めていない。しかし、橋本駅周辺のまちづくりにおいて、さらなるまちの魅力向上に資するものと認識している。リニア中央新幹線が地下駅である特性を活かし、今後どのような地下空間の活用が可能か検討を進めている。</p> <p>次に、道路整備について、これも「移動しやすいまちづくり」という視点からの課題である。特に都市計画道路宮上横山線の、JR横浜線小原踏切の改良工事については、先ほどの話のとおり、「第2次相模原市新道路整備計画」において「優先整備箇所」に位置付けられており、令和13年度までに事業着手することとしている。事業着手には測量や構造検討なども含まれる。</p> <p>小原踏切は「踏切道改良促進法」に基づき、国土交通大臣が「自動車ボトルネック踏切」として指定しており、これを受け、立体交差による抜本的な改良整備を行うこととしている。現在は都市計画変更に向けて、高架式とするか、地下式とするかなど、整備内容を検討している状況である。 (奈良副市長)</p>
---------------------	---

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>橋本駅南口から国道16号方向に走る市道橋本駅西口と、アリオ橋本方向に向かう市道橋本石上についてだが、非常に交通量が多く、自転車の標識が設置されているものの、車道が非常に狭い。そのため、自転車が歩道を走行せざるを得ない状況になっており、歩行者にとって危険な状態に陥っている。そこで、市として市道橋本駅西口および市道橋本石上の拡幅計画の予定があるのか伺う。</p> <p>次にJR横浜線の小原踏切の改良工事が完了すると、交通量が急激に増加することが予測される。交通量が増えることで、小山1丁目交差点の渋滞がさらに深刻化することが懸念されるが、今後改良工事の計画はあるのか伺う。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ご指摘のとおり、市道橋本駅西口、市道橋本石上は非常に狭くなっている。現在、橋本駅周辺ではリニア中央新幹線の工事が始まっており、今後UR都市機構が施工者となり、土地区画整理事業が進められる予定である。この事業の中には、当該道路の整備も含まれており、また民間の開発事業とも連携して進められることになる。この事業の中で自転車と歩行者の動線を分け、安全で快適な歩行者空間を創出することを考えている。</p> <p>少し先になるが、市道橋本駅西口の橋本2丁目交差点より先の区間については、事業区域から少し外れているが、この部分に関しては歩道が既に確保されており、都市計画上の予定幅員で整備が完了している状況である。そのため、現在のところ追加の拡幅計画はないが、今後の交通状況を注視していきたい。</p> <p>小原踏切の改良工事が完了した後の小山1丁目交差点について、現時点では都</p>

	<p>市計画で定められた幅員での整備が完了しているため、具体的な拡幅計画はない。しかしご指摘のとおり立体交差化が完了し、橋本のまちづくりが進んでいく中で、交通量の増加や渋滞の発生が懸念される。そのため、今後も車両の流れや交通状況を注視していきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">（鈴木都市建設局長）</p>
地区の発言	<p>橋本駅周辺の模型等の作成は計画しているのか。駅周辺の将来像を目に見える形で分かりやすく提示していただきたい。</p>
市の発言	<p>現在、そのようなご意見やご指摘を多々頂いており、新しい橋本のまちについて、模型で示せるようにしたいと思っている。</p> <p>ただ現時点では具体的なものができているわけではないので、今後示せるようにしたい。</p> <p style="text-align: right;">（鈴木都市建設局長）</p>
地区の発言	<p>数年前、横浜線の連続地下化の話があり、かなり具体的に進められていた。その計画が現在どうなっているのかを教えてください。</p> <p>また京王線橋本駅移設の施工時期について、どの程度具体的に進んでおり、いつ実現するのかを伺う。</p>
市の発言	<p>横浜線の立体交差について検討が行われていたことは承知しているが、現時点で具体的な計画として進んでいるものではない。</p> <p>次に、京王線の橋本駅の移設についてだが、現在京王電鉄と移設について最終的な協議を行っている状況である。UR都市機構が進める土地区画整理事業の中でも、基本的には移設を前提として進めることになっている。京王電鉄としても移設を前提に検討を進めており、まだ社内で正式な手続きを踏んでいるわけではないが、移設に向けた準備は進めていると承知している。</p> <p style="text-align: right;">（鈴木都市建設局長）</p>
地区の発言	<p>この地域で長く住んできた中で変化を感じている。特に津久井から山中湖に抜ける道路が信号も無く、一部細い所があるが非常に快適になった。しかし、現状でも圏央道から橋本方面へ向かう小倉橋付近の道路は非常に混雑する。混雑していなければ10分ほどで橋本に到達するはずの所、渋滞時には30分以上かかることもある。また、小原方面も大変渋滞が激しい時間帯がある。</p> <p>リニア中央新幹線は約900万人の足になる可能性が高いとも言われており、それは圏央道等の様々な道が充実することによって成り立つと考えている。私の意見としては、今から大島や城山辺りのまだ畑が残っている所に道路を広げる等の対応をしていただきたい。リニアが開業してからでは遅いと考えている。橋本駅周辺も大事だが、中心部を利活用するためには、圏央道から来る道についてバイパスを作る等、対応いただきたい。</p>
市の発言	<p>ご指摘のとおり、リニア中央新幹線の駅ができるということは千載一遇のチャンスであると考えている。この機会を橋本だけにとどめず、周辺地域にも波及させることが重要であり、地域全体にその効果をもたらす取組を進めていかなければならないと考えている。バスの運行や道路整備についても同様で、検討していきたい。</p> <p style="text-align: right;">（鈴木都市建設局長）</p>
地区の発言	<p>協同病院や相原高校の前の道路について、町田市と接続すれば大きな利便性が生まれるのではないかと。検討をお願いしたい。</p>
市の発言	<p>市内の道路整備および管理については、市の中で道路が直結していない部分があり、そのために本来の効果が十分に発揮されていない。道路整備はつながることによって初めて本来の機能を果たすため、現在は第2次相模原市新道路整備計</p>

	<p>画において、今後10年間で整備すべき道路を選択と集中をして進める方針を掲げている。現在、26路線を優先整備路線として設定し計画的に進めているので、今回は提案いただいた所を含め、効果・優先度を踏まえて検討していきたい。</p> <p>(鈴木都市建設局長)</p>
地区の発言	<p>10年程前から交通整備を進める中で、駐車場の問題は重要な懸念事項として挙げられていた。以前から橋本駅の地下に駐車場を整備する案を提案してきたが、当時は京王線の高架が障害となり、北口へ抜ける道路の整備が困難であると説明を受けた。しかし、関東圏から圏央道へのアクセスが改善され、改めて駐車場の整備が必要ではないかという議論が現在起こっている。最も重要なのは、東京駅のように大規模な地下駐車場を整備し、滞在可能な駐車空間を確保することである。この点について、具体的な計画があるのか伺う。</p>
市の発言	<p>現時点では、UR都市機構が行う土地区画整理事業の中で、移設する京王線の新駅に隣接して交通広場を整備する計画である。基本的には、この広場にバスの離発着や乗降空間を確保することとなっている。市長から検討の指示もあり、どのような地下空間を整備することが可能か、現在勉強を始めている段階である。その中で、指摘のあった駐車スペースの確保についても検討すべき課題であると認識している。</p> <p>(鈴木都市建設局長)</p>
地区の発言	<p>リニアの工事が延期となったが、当初の計画上では構想が進んでいる段階なので、計画の有無を教えていただきたい。様々なリニア関連の会議に関わり意見を述べてきたが、ほとんどの場面で「検討します」という返答をもらうものの、その後どうなったのかが不明瞭なままになっている。突然計画が変わったことは承知しているが、当初の計画では掘削作業に入っている時期である。</p> <p>人が滞在するかは商店街にとっても大きな問題で、新横浜駅のように出入口によって人の流れが変わってしまうと、経済効果が生まれにくい場所が出てしまう。現状、橋本駅南口のアリオ橋本が盛り上がっている状況にあるが、南口の商店街は縮小している。</p> <p>リニアを目当てに訪れる人々が北口に向かうことは考えにくいので、無計画では駅周辺の経済効果が限定的なものになってしまう。商店街を活性化させていく手段や北口への人の流れの創出、駐車場誘致等、橋本全域を活用し滞在していただける空間を作る計画があるのか伺う。</p>
市の発言	<p>南北のまちづくりは一体で考えていかなければならないと承知している。現時点での整備計画として、南北を結ぶ自由通路の整備がある。リニア中央新幹線の駅が南口の地下に建設される予定であるが、移設される京王の新駅は、現況よりもリニアの駅に近づいた場所に建設されることが想定されている。また、リニア新駅と現在のJRの駅を自由通路で結び、南北の回遊性を高める取組が計画にある。</p> <p>駐車場については、橋本へ来訪する場合は、圏央道から大西大通り線を通ることや国道16号を通ることが考えられるが、南口から北口へ抜けるルートを作る計画は現時点では無い。その上で、駐車場スペースを作るべきかについては、JR東海の工事の遅れを機会として検討できないか、埋め戻しが行われる前までに駐車スペースの確保が可能かどうか、勉強を始めた状態である。</p> <p>(鈴木都市建設局長)</p>

<p>市の発言</p>	<p>駐車場については、鈴木局長が述べた通り、現時点で具体的な計画が確定しているわけではない。しかし、令和5年11月に策定したまちづくりガイドラインにおいて、駐車場の適正配置と効果的な運用について誘導するという位置付けをしている。</p> <p>まちづくりにおいては、民間の開発が重要な要素となる。そのため、民間の開発事業者に附置義務駐車場として、適切な場所に駐車場を配置するよう誘導していくことがガイドラインに位置付けられている。まちづくり全体の中で、需要に対応できるようなキャパシティを考えていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(佐藤リニアまちづくり課長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>橋本小学校等で登校班を設けて登校している中で、国道16号線沿いのエリアや旧協同病院の辺りから通う児童が通る道路が4車線あり非常に危険である。危ない所は保護者が立っているが、児童は必ず地下道を通っている状況である。</p> <p>今後リニアが開業し、駅前に大規模な道路が整備されると、道路を越えて通学しなければならないケースが増える。今回の懇談会のテーマが移動しやすいまちづくりということで、小学生・中学生目線では地下道の整備を行っていただけるとありがたい。</p> <p>大きな道路について、歩行者と自転車の動線が分かれる場所もあるが、どうしても小学生が道路を横断しなければならないケースがあるので、地下通路や安全に道路を越えられる場所が欲しい。さらに中学生になると宮上小学校や旭小学校方面からも通う生徒がいるので、駅の北口側から通学する場合もある。駅を混雑時間帯に通行するのは危ないので、そのような箇所も導線を分け、住んでいる方も便利で移動しやすいまちづくりを行っていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>先程言及したが、南北の動線について申し上げますと、まさに住民や駅を利用する方々も含めて、利用しやすい動線を確保していきたいと考えている。ただ、国道16号線を跨ぐところまでの地下道の整備は難しいのではないかと考えているが、まだ検討を始めたばかりの段階であるため、ご意見を踏まえながら、検討を進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>43年前から橋本に住んでいるが、橋本駅周辺は他の横浜線沿線駅と比べて特に様変わりしたと思う。過去に京王相模原線の起点の駅となった時は多くの人口流入があったと記憶している。私自身橋本駅から新宿駅まで通勤していたが、都心と比べ橋本に居心地の良さを感じていた。今後リニアが開業し、品川までのアクセスが10分程度となると、都心の南部エリアへの通勤圏として橋本が注目され、都心部より地価が安い橋本に家を建てる人や、橋本に家を借りて都心に通う人が増えてくる。そのような状況の中で、橋本を訪れたいくなるまち・住みたいくなるまちにするため、橋本や相模原の魅力を考えていかなければならない。</p> <p>通過点ではなく、住みたいくなるまち橋本・住みたいくなるまち相模原や、「行ってみようかな」と思えるまちにするため、魅力づくりやアピールをしていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>橋本地区はまさに「都市と自然のベストミックス」を象徴する地域であると考えている。リニアが開業すれば、橋本に住みながら東京や名古屋方面へ通勤する人や、あるいは二地域居住を実践する人々も増えると考えているので、そうした層の方々がここに住んで良かったと思っただけのようなまちづくりをしていなか</p>

	<p>ければならないと思っている。そのためにも商業施設の整備やまちづくりといったハード面だけではなくソフト面で賑わいを創出していきたい。また、この地区特有の憩えるような場所作りも緑区長と協力して取り組んでいきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
地区の発言	<p>魅力あるまちづくりというと、誰にとっての魅力であるかが問われる。地区にとって魅力のあるまちなのか、世間にとって魅力あるまちなのかを考える必要がある。地域の人には、人が集まりすぎると嫌う人や緑豊かな橋本駅を望む人もいる。また、子どもたちが遊ぶ空間を求める人もいる。以前から意見があったが、地域にとっての魅力あるまちづくりという視点を持っていただきたい。</p> <p>橋本で下車する人が増える良い機会なので、橋本の目玉となる場所が必要なのではないか。例えば名古屋の栄地区は地下街が充実しており、地下に人が集まれる空間になっている。そのような場所を目指してみてもどうか。本来であれば、2年後にはリニアが開通している予定であった。やはり地元の人にとっても魅力がありつつ、多くの人を訪れて楽しいと感じるまちづくりを考えていかなければいけない。</p>
市の発言	<p>住んでよし・訪れてよしというまちづくりが理想だと考えている。市長からも地下街の活用を検討してはどうかとの意見もあり、地区の皆様のご意見もいただきながら勉強していきたい。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
市の発言	<p>人をどのようにして呼び寄せるかという点に関しては、検討課題として注視されていると感じている。しかし一方で住民の皆様にとって、人を集めるための賑わいづくりが心地よいものなのかどうかを考える必要があると感じた。人が集まる魅力が、住民の皆様への誇りとなるのが大事なポイントであると思った。</p> <p>市としても賑わい創出の中で、橋本駅周辺をどのようにしていくのが良いのか、橋本まちづくりセンターを中心に部会の一つとして、ご意見を踏まえて検討していきたいと改めて感じた。</p> <p style="text-align: right;">(椎橋緑区長)</p>
地区の発言	<p>駅における一般の自家用車・送迎車の扱いについて、南口はリニア工事に伴い全く新しいものになると承知しているが、現在の状況に課題を感じている。</p> <p>タクシーやバスにはそれぞれ乗降場所が決められている一方、一般車については乗降場所が駅から少し離れているため、利用者が駅周辺の乗降場所以外のエリアで乗降を行っている。しかし、それを取り締まる警察もいないため、ルールを守らない人と、ルールを守る人との差が生まれており、状況が良いとは言えない。</p> <p>例えば永山駅ではバスやタクシー乗り場に進入禁止の規制があり、違反すると警察に取り締まれる仕組みになっている。是非現地確認を行っていただきたい。京王線の新駅建設にあたり、ルール整備をしっかりと行っていただきたい。</p> <p>また北口の一般車の送迎スペースについても、現在の駅の規模に対して3台分のみの駐車スペースは明らかに少ない。そのため、送迎の車が駐車スペース外に駐車し、結果として雨天の夕方等は周辺の道路が混雑している。ミウヰ橋本の北側の道路も幅が狭く、乗用車が1台止まると通行できなくなってしまう。これらの運用上の問題については改善していただきたい。</p> <p>長年橋本駅北口に住んでいるが、この現状が放置していることに疑問を感じている。現地を確認した上で、まちづくりを行っていただきたい。</p>

<p>市の発言</p>	<p>自身も実際に現地を確認しており、送迎の様子なども拝見している。新しく整備するまちづくりの中では、京王線の新しい駅前交通広場にバスやタクシーを停める計画である。一般車はそのエリアに入れないようにする運用を考えている。</p> <p>一方で一般車の乗降場所については、現在の京王線沿いのエリアに数台の一般車が乗降できるスペースを設ける方向で検討を進めており、一般車の駐車場と合わせて検討していく。また、民間開発の中での附置義務駐車場についても動線を含め検討している状況である。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>市が行動を起こさなければ、橋本が何も無い通過点の駅になってしまう。リニア新駅の工事が10年延びたことを鑑みて、100年に一度の大きな事業ということもあり、大規模な投資を行うべきではないか。</p> <p>リニア開通後は品川から10分圏内ということもあり、今後地価は上昇すると考えられる。また、魅力ある場所なので必然的に人は集まってくると考えられる。その時に混乱に陥らないよう、現在の北口のように人が集中する所は、費用がかかると思うが立体化や地下化も検討しつつ、投資を検討していただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>地価調査を行ったところ、1平米あたりの水準が上昇している。これは、すでに多くの民間企業がこのエリアに目をつけている証拠だと考えており、実際にマンション開発などの計画も進んでいる。</p> <p>ご意見いただいた通り、将来を見据えて投資すべき箇所は投資を行い、将来困らないように取り組んでいきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>以前の地区の会議で、橋本地区には子どもたちが自由に遊べる広場がないということが大きなテーマになった。夏に子どもたちがどこで遊べるかを考えた時に、ほとんどの子どもたちがアリオ橋本に行っているとの情報もあった。是非、新しいまちづくりの中に、緑地や子どもたちが自由に遊べる広場を計画していただきたい。現在自治会にも広場がなく、防災訓練を行う場所の確保ができずに困っている自治会もある。その点も考慮いただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>UR都市機構がこれから施工を始める土地区画整理事業の中で、アリオ橋本付近のエリアに公園を設ける計画がある。また、市が整備する公園とは別に、民間開発によって整備される空間の中にも一定の広場を設け、人々が利用できるような空間を設置することを検討している。子どもたちの遊び場として機能するかどうかはまだ明確ではないが、人の集まる広場については確保していきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>以前テレビ番組のインタビューを受けた際に、リニアに期待するものとして、橋本の知名度が上がることを挙げた。友人との会食の場等で、橋本の位置について中々説明することが難しかった私にとって、知名度向上がリニア開業の最大のメリットだと思っている。是非、橋本の知名度向上に向けリニア完成後ではなく、今から施策を打ち出していきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ご意見いただいた通り、私自身も相模原の位置を伝える際に苦労することが多い。やはり皆様に相模原を知ってもらう必要がある。</p> <p>この先、橋本にリニア新駅が建設されると、地区の認知度は自然に向上すると思う。ただし、それだけでは不十分であるので、私たちも積極的にアピールし、橋本の魅力を発信していく必要がある。そして、住んでいる皆様が誇りに思えるまちを目指して取り組んでいきたい。</p> <p style="text-align: right;">(椎橋緑区長)</p>

<p>地区の発言</p>	<p>津久井地区はまさに都市と自然のベストミックスを表していると考えます。しかし橋本に降りたいと思った際、津久井や相模湖・藤野等はとても魅力的な土地であるが、周辺の観光地化を目指した再開発等の計画はあるのか。例えば昨今では自然を利用した観光地の立て直しが有名だが、そういった構想はないのか。例えば、相模原の名産といえば津久井が思い浮かぶ。青年会議所で地域の名産品を決める取組等を行っていたが、半数程度は津久井地区から挙がる。そこで、道路などの動線やイベントスペース等の観光の目玉となるようなものの開発計画があるのかを伺う。</p>
<p>市の発言</p>	<p>観光地の開発について、大規模なものは計画していないが、今現在市内各地に点在しているキャンプ場や民間のレジャー施設を面的に捉え、周遊できる動線の整備が必要だと考えている。実際に青野原地区で新しいカフェを開業した方に話を伺った所、週末になると県外から多くの方が訪れているとのことだった。また、空いている物件があるかを良く聞かれるとのことで、二地域居住のニーズの高まりを感じた。完全に移住するわけではないが、週末はこの地区に訪れて畑仕事をし、仕事は自宅で行うといったライフスタイルに興味を持つ人が増えている。そうした人々にとって、橋本は東京からすぐにアクセスできる立地にある。例えば、車を借りて駅周辺エリアへ足を伸ばし、城山の電動自転車ツアーでの観光や小倉や大島方面への観光等様々な動きが考えられる。</p> <p>我々としては観光を中心としたコンテンツとして、半日楽しめる・1日楽しめるモデルを考えていかなければならないと思っている。よって、橋本近隣で遊べる都市的なコンテンツや、そこから少し足を伸ばして津久井地域の自然の中で楽しめるコンテンツを、インフルエンサーの動画等の活用により周知し、降りていただける場所を目指していく。</p> <p style="text-align: right;">(椎橋緑区長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>現状橋本駅から降り立って観光に行こうとすると、戻って来ることが難しい。バスも1時間に1本から2本程度となっているので、整備していただきたい。</p> <p>緑区全体から考えると、やはり津久井方面の観光資源を活かすことは重要であり、橋本地区にとっても、商店街やお店の方々、そして住民にとって、リニアができることによって潤うという状況を作っていかなければならない。やはりそのためには交通網と駐車場の整備をお願いしたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>現在バスの運転士不足が非常に深刻化しているという状況を聞いている。そのため、今後バス路線が減少していくことは避けられず、この地区だけがその影響を免れるというわけにはいかないと考えている。そのような状況を踏まえ、現在バス路線の再編をどのように進めるか検討を始めている段階である。</p> <p>一方で、やはり来街者の移動手段の確保は非常に重要であり、橋本から津久井方面に足を運べるような交通手段の整備については、引き続き検討していく。これは公共交通としての運行も含めるが、それだけでなく民間のカーシェア等にも協力いただく等、皆様の知恵を借りながら、どうすれば来街者の移動がスムーズに行えるか、検討していきたい。また引き続きご意見をいただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(椎橋緑区長)</p>
<p>市の発言</p>	<p>橋本から14キロほど離れたところに鳥屋という地区があり、リニアの車両基地ができる。リニア沿線では二つの車両基地が整備され、その一つが鳥屋に設置されることから、関東車両基地と呼ばれている。もう一つの車両基地は岐阜県の</p>

	<p>中津川に設置される予定で、そちらは整備車両中心となっている。関東車両基地には、営業運行に使用される車両が配置され、10数台の車両が留置される予定であると聞いている。そこで、この車両基地を観光資源、あるいは地域資源として活用できないかという観点で、現在JR東海とも協議を進めている。</p> <p>昨年12月25日には工事の地鎮祭が執り行われ、今年から本格的に山林の伐採を開始する予定である。現時点ではまだ山林が広がっており目に見える変化はないが、これが平地化されると、約60ヘクタールという大規模な土地となる。橋本駅とこの車両基地は近い距離にあり、その周辺には宮ヶ瀬湖もある。さらに反対側には高尾山のような観光資源も存在する。そうしたことを踏まえ、橋本駅に降り立った人々がどこへ向かうのかという動線を考えながら、より広い視野でエリア全体の観光計画を進めていきたいと考えている。 (奈良副市長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>新横浜駅は施工された段階から現在まで大きく変化している。今現在の状況は開発時には想定されていなかったと考えられる。そこで、先行事例として新横浜駅の開発について、当時の計画を主導した担当者がどのようなビジョンを持ち、どのような経緯で現在の形に至ったかを確認しておくことは、今後の参考になると考えられるのでお願いしたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>実際に新横浜の開発に携わった県の職員に話を伺いながら勉強していきたい。 (鈴木都市建設局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>相原大沢線から県道鍛冶谷相模原線までの都市計画決定について、鍛冶谷線は県の緊急輸送路になっていると聞いている。2つの道路を繋げることで、災害時の大きな動脈になるのではないかと聞いている。都市計画道路は都市の骨格になるものなので、是非具体的な路線として整備していただきたい。整備予定の給食センターや相原高校、協同病院も一方からのみの入場となっているので、反対側から入場することが出来ると、本来の機能が発揮できると考える。</p> <p>さらに防災対策について伺う。昨年大雨で内出中学校のポンプ場が溢れた。溢れた原因として二本松地域からの雨水流入があったためではないかと考えられる。ポンプ場だけでなく、隣接するマンホールも機能不全を起し、道路舗装のやり直しが必要になるなどの影響が出ている。原因の一つとして、二本松小学校のグラウンドの雨水の貯留施設が無いことが挙げられる。雨が降ると二本松小学校のグラウンドから津久井広域道路方面に雨水が流れ込む。津久井広域道路には雨水幹線が設置されていないため、水が緑地帯を通過して大沢地区に流れてしまっている。</p> <p>市の方でも原因調査や対策を進めていると思うが、この状況の中で市はどのような対策をするのか。また、津久井広域道路には今後も雨水幹線を設置しないのか、それとも検討課題になっているのかどうかを伺う。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ご指摘の路線についての重要性を認識しているが、まずは第2次相模原市新道路整備計画で掲げた26ヶ所の優先整備路線を主体に進めることが市として最優先の課題だと考えている。これが完了した暁には、第3次相模原市新道路整備計画に向けた見直しを行う予定であり、その中で改めて検討させていただく。</p> <p>次に内出中学校のポンプ場についてのご指摘だが、昨今の降雨状況は非常に厳しく、時間当たり60ミリから90ミリ程度の集中豪雨が発生することもあり、現在特に状況が悪い南区を中心に雨水幹線の整備を優先的に進めているところで</p>

	<p>ある。</p> <p>二本松小学校周辺については、民間の宅地や新しい開発地に雨水貯留施設の設置を求めている。境川は特定都市河川に指定されているため、流域内で新たに開発を行う場合には、雨水浸透阻害行為に対する代替措置として、貯留施設を設置する規制を実施している。さらに、公園や公共用地などにおいても、雨水貯留施設を設置し、直接河川や公共用水域に流れ込まないような対策を進めるよう、国に要請を行っていた。可能な場所から雨水の貯留施設を作るべきというご指摘には同意している。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木都市建設局長)</p>
--	--

<p>市長の感想等</p>	<p>本日は貴重なご意見を賜り感謝する。</p> <p>道路については、市長に就任した6年前から整備に課題があった。そこで第2次相模原市新道路整備計画を策定し、26本の道路を選択と集中で優先的に整備する方針を打ち出し、現在進めているところである。</p> <p>その中で、橋本駅南口に関しては新設の道路を5本計画しており、地権者の皆様のご理解がなければ前に進めない事業であると認識している。寄り添った対応とご説明を繰り返しながら、道路の必要性をお伝えする。</p> <p>国道16号をはじめ、例えば北里大学前を通る県道52号についても、交通渋滞が非常に大きな課題だと考えている。宮上横山線や宮下横山台線等の町田との関係をつなぐ道路も整備するので、道路整備に関しては引き続き市民の皆様のご理解を賜りながら、前に進めていきたいと考えている。</p> <p>駐車場の問題についても、非常に重要な課題だと認識している。今後は一人一台車を持つ時代ではなくなる可能性もあるが、周辺から多くの人が集まってくると予想される。現在の計画では、北口の市営駐車場に対応可能という算定をしてきたが、実際にはそれでは不足するのではないかとの議論も起こっている。また、南口から北口へデッキが整備されたとしても、北口までの移動がスムーズにできるのか、不便さを感じることはないか等についても議論していく。</p> <p>リニアについて、現在橋本に停車する電車が1時間に1本と言われているが、少なくとも1時間に2本、3本、4本と停車されるようなまちづくりを示していく必要があると考えている。そのために橋本地区は多摩地域を含めた素晴らしい経済圏にしていかなければならないと感じている。イノベーション創出の拠点となる産業創造センターも近くにあるので、起業するなら相模原を打ち出せるような企業誘致を進めていく。</p> <p>また隣の3キロ離れた相模原駅にも15ヘクタールの返還地がある。今年7月には、この土地の利用計画を示す予定であり、具体的なまちづくりの方向性をお示しする。移動手段も含め、橋本・相模原一体の整備も非常に重要であると考えている。</p> <p>本日、津久井地区の団体による賀詞交換会があり、その場でも話があったが、津久井地域において特に期待が大きいのは、リニアの関東車両基地である。関東車両基地への回送線の旅客化を求める声も多く寄せられている。JR東海へ旅客化を求めており、まだ0回答ではあるが、人の移動にも役立つ旅客化を進めていきたい。</p> <p>昨年12月24日から25日にかけて、大阪・名古屋を視察し、その際にリニ</p>
---------------	--

ア館を訪問した。関東車両基地にも、同様にリニアの見える場所にリニア館があれば良いと考えている。また、宮ヶ瀬湖は現在、観光客数が黒部ダムを超えて1位となっているが、宿泊施設がないため、訪問者が日帰りで帰ってしまう状況である。これは非常にもったいないと感じているため、ここは経済圏として、八王子や町田、上野原市、多摩方面等様々な地域とも連携を進めるべきであると考えている。

例えば登山では八王子の高尾山と連携する、ロボットを感じるなら相模原に来ていただく等、要所で地域の特徴を活かしながらワクワクするまちづくりを進めていきたいと考えている。都市と自然のベストミックス、田舎すぎず都会すぎないまちをさらにシティプロモーションしていく。

橋本の地下空間の利用については、私の市長2期目の前までは、地下空間の活用についての計画はなかった。しかし、2期目からは進めるべきと考え、現在都市建設局長や奈良副市長を先頭に、国や県、民間団体に意見をいただきながら地下空間の検討を進めている。

橋本が選ばれるまちになるために、「私は橋本で子育てをしている」「私は第二、第三の人生を橋本で楽しんでいる」と言っていただけのまちにしたい。

リニアの開業はチャンスだが、選ばれるまちは行政だけでは成し得ないと考えている。民間の活力や、皆様の発想が必要である。是非区役所や市役所にご意見をいただきたい。

相模原を次の世代に向けて盛り上げられるよう、橋本地区の安藤代表をはじめ、委員の皆様にご協力をお願いし、本日のご挨拶とさせていただきます。

(本村市長)